

令和2年度

現職・退職校長北足立南部支部
教育推進協議会

「自利利他を目指す学校経営」
～仕掛けを意識した実践～

草加市立松江中学校長 小林 和広

3つの経営戦略

その1 「キーワード」や「便り」で発信する
方針浸透作戦

その2 職員との信頼関係を築く
「見守っているぞ」作戦

その3 様々な場面で仕掛ける！ 楽しい職場作戦

< 「キーワード」や「便り」で発信する方針浸透作戦 >

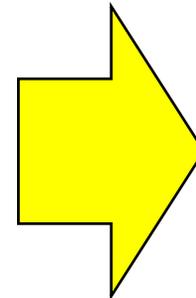
作戦1

心に残る「キーワード」の活用

☆ リスペクト・アザーズ

☆ 松中プライド

☆ ファーストペンギン・スピリット



○ 年度当初の経営方針

○ 学校だより

○ 掲示物

○ 校長講話

掲示物の例



「学校だより」から



松江中だより

草加市立松江中学校
第10号
令和2年1月8日

学校教育目標

ま	学ぶ意欲のある生徒 (知 : かしこさ)
つ	強い心と体をもつ生徒 (徳・体 : たくましさ)
え	笑顔あふれる生徒 (和・輪 : あたたかさ)

開校35年目

～ ファーストペンギン・スピリッツ ～

以前の校長講話で話をした「ファーストペンギン」の話は覚えているでしょうか。ペンギンは、どこかに移動するとき、まず群れの中の1匹が動き、その後に残りの群れが従って動くという習性があります。南極で暮らすペンギンたちは、海に飛び込んで食料となる魚を捕る必要があります。ところが、海にはシャチやアザラシなどの肉食動物がペンギンを狙って水の中で待っている可能性がある。魚は食べたい、でももしかしたら敵がいて食べられてしまうかもしれない。そんな危険な環境の中で、ペンギンは氷の上で右往左往しているのです。しかし、そんなペンギンの中で「我に続け！」とばかりに飛び込むペンギン、それがファーストペンギンです。このように**勇気をもって未知の世界や仕事に飛び込むことを、アメリカでは「ファーストペンギン・スピリッツ」と**称



えるそうです。この最初に飛び込むペンギンは、群れのリーダーではなく普通のペンギン、そして毎回違うペンギンなのだそうです。私たちも、何か新しいことにチャレンジするときは、ファーストペンギンのように勇気をふりしぼって一歩前に出ることが大事だと思います。失敗を恐れず、苦手なことから逃げたりせず、自信をもって様々なことに挑んでください。



松江中だより

草加市立松江中学校
第5号
平成29年8月29日

学校教育目標

ま	学ぶ意欲のある生徒 (知 : かしこさ)
つ	強い心と体をもつ生徒 (徳・体 : たくましさ)
え	笑顔あふれる生徒 (和・輪 : あたたかさ)

開校33年目

リスペクト・アザーズの精神 ～人権について考える～

校長 小林 和広

私はこの2つのイベントを通して、改めて人権問題について考えさせられました。同時に、数年前に全国中学生人権作文コンテストで入賞した、神奈川県の中3年生の男子が書いた作文を思い出します。それは、「リスペクト・アザーズ」という題名の作文です。この作文を書いた生徒は、日本の小学校に転校するまでアメリカのサンディエゴという都市で育ちました。アメリカでは、幼少期から「リスペクト・アザーズ (Respect Others)」の精神をたたき込まれるそうです。これは、「他の人のことを尊重しなさい」という意味です。アメリカにはたくさんの人種が住んでいて、人種差別をしないという意味からも、小さい頃から相手の気持ちを大切にすることを教えられるそうです。誰かが意地悪をしたとか、誰かがいじめをしたとか、そんなとき、先生方は必ず「リスペクト・アザーズ」と言って、当事者に反省を促したそうです。

しかし、彼が日本に転校してみると、大きなカルチャーショックを受けます。皆、他の人と大きく違わないように、集団から浮かないように気を遣っているように見えたからです。そして、自分がうまくできたことを相手に伝えようとする。「それは自慢だ」と言われたり、傷つく言葉を相手から言われても「それは冗談だよ」とうやむやにされたりする場面によく出くわし、とても驚いたそうです。皆さんは、一生懸命やってもうまくいかないときに、嫌なことを言われたり、逆に友だちにひどい言葉を投げかけたことはありませんか。彼は最後に次の文章で作文を締めくくっています。「同じ人間は一人もいない。人と違うことがまたその人の個性である。違う点だけでなく、うまくいったこと、できなくても努力していくことなどを尊重し合っていくことができれば、もっと素晴らしい社会になっていくと思う」ぜひ、この言葉を胸に刻んで、これからの中学校生活を送りましょう。



< 「キーワード」や「便り」で発信する方針浸透作戦 >

作戦2

読む意欲を掻き立てる「学校だより」

中学校の勉強は「味噌汁のだし」
ドラマ「半沢直樹」から学ぶこと
「ヤバイ」という言葉の意味の変遷
『綾瀬はるか「戦争」を聞く』から

ドイツのマイスター制度から考える
「津波でんでんこ」釜石の奇跡とは
大阪桐蔭高校野球部選手の言動から
寝たきり社長・佐藤仙務さんから学ぶ



松江中だより

草加市立松江中学校
第5号
令和2年8月26日

学校教育目標

ま 学ぶ意欲のある生徒 (知 : かしこさ)
つ 強い心と体をもつ生徒 (徳・体 : たくましさ)
え 笑顔あふれる生徒 (和・輪 : あたたかさ)

開校36年目



松江中だより

草加市立松江中学校
第4号
令和元年7月1日

学校教育目標

ま 学ぶ意欲のある生徒 (知 : かしこさ)
つ 強い心と体をもつ生徒 (徳・体 : たくましさ)
え 笑顔あふれる生徒 (和・輪 : あたたかさ)

開校35年目

誇りを持って生きる

～ドラマ「半沢直樹」から学ぶこと～

校長 小林 和広

さて、この夏に放映されているテレビドラマで「半沢直樹」が高視聴率をたたき出しています。堺雅人さん主演で、7年ぶりの続編放送。日曜日の夜を心待ちにしているのは、私一人ではないと思います。普段テレビを見ない娘が、お盆の帰省時にこのドラマを見て、おおいにはまってしまいました。7年前に放映された前編をネットで見るほどに。また、本校の図書館前の廊下には、原作者の池井戸 潤さんの書籍が並べられており、ぜひ、生徒の皆さんにも読んで欲しいですね。

「半沢直樹」が描かれている背景は、銀行や証券業界といった金融の世界。3年生の「公民」で学習する内容です。働いてはいない生徒の皆さんが読んで、実感できないでしょう。しかし、卒業後の進路を考える際には、ひとつの指針を示してくれていると思うのです。また、これから10数年先、皆さんが社会に出て働いている頃には、半沢直樹の訴える言葉は心に突き刺さってくるかも知れません。

「サラリーマンは・・・いや、サラリーマンだけじゃなくて全ての働く人は、自分を必要とされる場所において、そこで活躍するのが幸せなんだ。会社の大小なんて関係がない。知名度も。オレたちが追及すべきは看板じゃなく、中味だ」

「どんな小さな会社でも、あるいは自営業みたいな仕事であっても、自分の仕事にプライドを持てるかどうか、一番重要だと思うんだ。結局のところ、好きな仕事に誇りを持ってやっていたら、オレは幸せだと思う」 ※『ロスジェネの逆襲』より

味噌汁の出汁のようなもの

— 中学校で学習することの意味は —

校長 小林 和広

このような質問に対して、ご自身の実体験からの確かな答えを示してくれた方がいます。全日本男子バレーボールチームの監督である中垣内祐一（なかがいち ゆういち）

さんです。中垣内さんは高校までは無名の選手でした。そのため、スポーツ推薦ではなく一般入試で筑波大学に進学します。そこから才能が開花して、オリンピック出場を果たすなど全日本のエース・主将としてご活躍されました。彼は中学校時代の学習について、「味噌汁の出汁（だし）のようなもの」と振り返っています。かつお節や昆布などの出汁は、味噌汁を飲むときには取り出して目にすることはありませんが、出汁のきいた味噌汁と、そうでない味噌汁の味の違いはかなり大きい。味の深みやコクが違う。つまり、中学校の時の学習は出汁のように具体的に何の役に立つのかは見えないけれど、味噌汁には欠かせないものと同じように将来生きていく上で人生を味わい豊かにするととても大切なものであると。素敵な答えだと感心しました。

今日から期末試験です。生徒の皆さんは今、自分に課せられている学習から決して逃げずに努力を重ね（うま味のあるしっかりとした出汁をとり）、それを土台にして将来、よりよく生きていって欲しいと願っています。そして私たち教職員も保護者の皆様と共に、出汁をしっかり



< 「キーワード」や「便り」で発信する方針浸透作戦 >

作戦3

自利に偏った「校長室だより」

- 職員への労い
- 今後の教育活動への配慮事項
- 自己評価シート、人事調書等
- 小中校長会議の内容伝達

《読書コーナー》

話題の書籍も含めて、校長自ら
お薦めしたい本を紹介するコーナー

< 今年度紹介した書籍 >

「半沢直樹」シリーズ・・・ドラマで話題
『行動経済学の使い方』・・・ナッジ理論
『銃・病原菌・鉄』・・・コロナ禍で注目
『アーモンド』・・・本屋大賞 翻訳部門1位
『流浪の月』・・・本屋大賞 大賞受賞

校長室だより

学ぶ意欲のある生徒 強い心と体をもつ生徒 笑顔あふれる生徒

1 「心の救急箱」を用意しませんか？

日頃から教職員の皆さんには、感染症予防対策を丁寧に実施していただき、本当に感謝いたします。子どもたちの元気な笑顔を見ると、そんな日々の大変さも吹き飛んでしまうこともあると思います。しかし世間では、東京都の感染者数がとうとう先週100人を超えてしまいました。また、学校の教員が感染者になるとか、児童生徒が感染者になると学校が休校する事態も起きています。このような状態が続いていくと、草加市内でも、あるいは本校でも「いつ休校になってもおかしくない」状況です。日々、緊迫した状況が続く今の世の中では、私たちはどこか不安を抱えているというか、手放して心から喜べないというか、心の曇りがとれないような精神状態であると思います。

そんな自分の気持ちに活力を与えてくれる「心の救急箱」を各自で用意することが大切であると、心療内科の先生の新聞コラムを読みました。自分を「①癒してくれる」「②笑わせてくれる」「③感動させてくれる」「④すっきりさせてくれる」「⑤ワクワクさせてくれる」「⑥集中させてくれる」・そんなたくさん引き出しがある「心の救急箱」を持つことで、自分自身が元気になれる。先生が元気であることは子どもにとっても大事なことです。皆さんも多くの引き出しを作って活用してみませんか。ちなみに私は、①野鳥のエガラのぬいぐるみを触る（頭をなでなで） ②ドラマ「逃げ恥」を見る ③クラシック音楽を聴く ④硬式テニスラケットで力いっぱいボールを打つ。又は、思いっきりドライバーショットを打つ ⑤アクション映画を見る ⑥数独を解く&料理をする……です。皆さんはどんな引き出しがありますか？



2 保護者会 ありがとうございました

7月1日（水）～3日（金）にかけて、各学年・5組さんで実施された保護者会は無事に終わりました。資料の準備から当日のご対応等 ありがとうございました。保護者の方から出た要望・意見等がありましたら、管理職までご連絡ください。

校長室だより

学ぶ意欲のある生徒 強い心と体をもつ生徒 笑顔あふれる生徒

1 充実した2学期にしましょう。

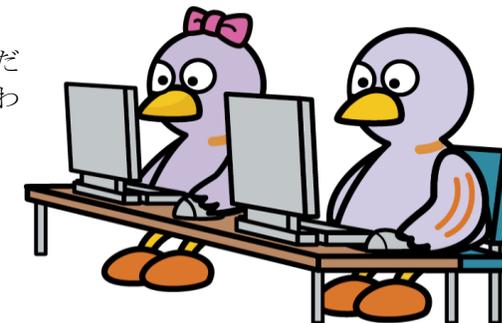
17日間にわたる夏季休業も終了し、2学期が始まりました。今夏は7月末に雨が多く心配でしたが、8月に入ると30度以上の厳しい暑さが続きました。熱中症対策のために先生方には日頃からご留意いただきありがとうございます。まだまだ残暑が厳しい日が続くとは思いますが、教職員の皆様も体調管理には気をつけてください。

2学期は1学期に延期になった行事等の実施も含めて、生徒にとっても、教職員の皆様にとっても忙しい時期となります。感染予防対策も講じながらの教育活動は、一層ご負担をかけることとなります。事故のないよう、お互い声を掛け合い、ひとつひとつ確認しながら対応してまいりますようお願いいたします。

2 成績処理・通知表作成 ありがとうございました

昨日は成績交換、来週月曜日は通知表配布と事務処理が続きます。お忙しい中、ご対応いただき、ありがとうございます。昨日の朝の打ち合わせでもお伝えしたとおり、コンピュータ任せにせず、必ず最後は人の目で確認作業をお願いいたします。

また、各教科の評価・評定につきましては、各々説明責任が果たされますようにご準備ください。



3 教職員事故防止強化運動（9月～11月）

1学期にはさいたま市内の中学校で、先週も川口市内の中学校で教員事故（薬物関係）が発生しました。今年度も事故が後を絶たない状況です。

県では、来月9月1日から11月30日までの3か月間を、「教職員事故防止強化運動期間」と定め、事故防止の徹底を図ることとしました。

読書コーナー

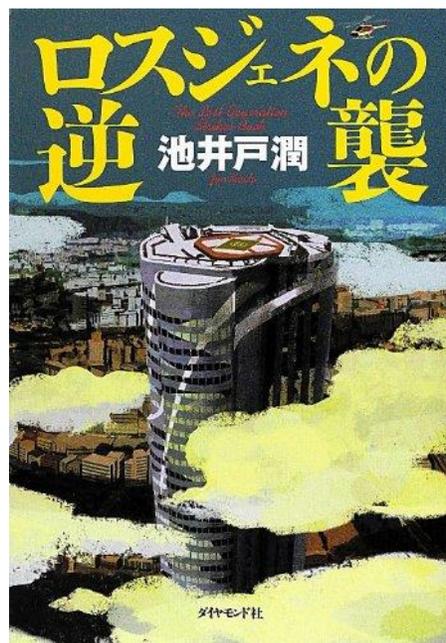


- 《半沢直樹》シリーズ 著者：池井戸 潤（文春文庫）
- ①「オレたちバブル入行組」
 - ②「オレたち花のバブル組」
 - ③「ロスジェネの逆襲」
 - ④「銀翼のイカロス」

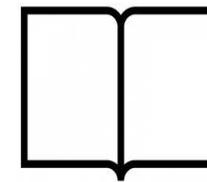
7年ぶりの続編放送で高視聴率をたたき出している堺雅人さん主演のドラマ「半沢直樹」。そのシリーズの原作本です。

7年前は①と②がドラマの原作でしたが、今回は③と④が描かれるそうです。小説とドラマでは多少登場人物も異なりますが、私はむしろドラマの完成度は小説を凌駕していると思えるほど素晴らしい出来栄です。脚本・演出・役者の演技・視覚効果・音楽等で、ドラマの世界にどっぷりとつかってしまいます。重厚なドラマですが、善悪がはっきりしており、何とんでも窮地に陥ってもくじけない主人公の姿を応援したくなります。

特に今回の原作である③には、実は**進路指導でも活用できる珠玉の台詞**があります。



読書コーナー



- 「銃・病原菌・鉄」上下巻 著者：ジャレド・ダイヤモンド（草思社文庫）

アメリカの生物学者であるジャレド・ダイヤモンド氏の大作です。刊行は1997年ですから23年前。しかし、最近の新型コロナウイルス感染症の拡大で、にわかに関心を浴びています。

特に本書の後半から記述のある「病原菌」については人類の歴史と病原菌がどのように関わってきたのか、「なるほど」とうならせる説得力ある内容です。とにかくスケールが大きく、世界史の通史とは違った角度から人類史を紐解いた名著です。最初はとっつきにくい本ですが、読み進めていくうちにぐいぐいと引き込まれていきます。時間があるときに。ぜひお勧めです。



図書館前の廊下で

「学校だより」や「校長室だより」で紹介した書籍を図書館内や廊下に展示しています。

※
池井戸潤の世界
岩波ジュニア新書
本屋大賞 受賞作品



< 「キーワード」や「便り」で発信する方針浸透作戦 >

作戦4

ネタと仕掛けの「校長講話」

○ネタで勝負

- ・ 「うさぎとカメ」の続編は？
- ・ 芥川龍之介の「桃太郎」って？
- ・ 「世界一こわい動物」って何？
- ・ スマホの歴史とAI時代の到来

○仕掛けで勝負

- ・ 医師 中村哲さんの思い
- ・ 「おにぎり」と「おむすび」の違い
- ・ 寝たきり社長 佐藤仙務さん
- ・ コップに注いだ一杯のお茶から

生徒の前に提示した拡大コピー



言霊 (ことだま)

<職員との信頼関係を築く「見守っているぞ」作戦>

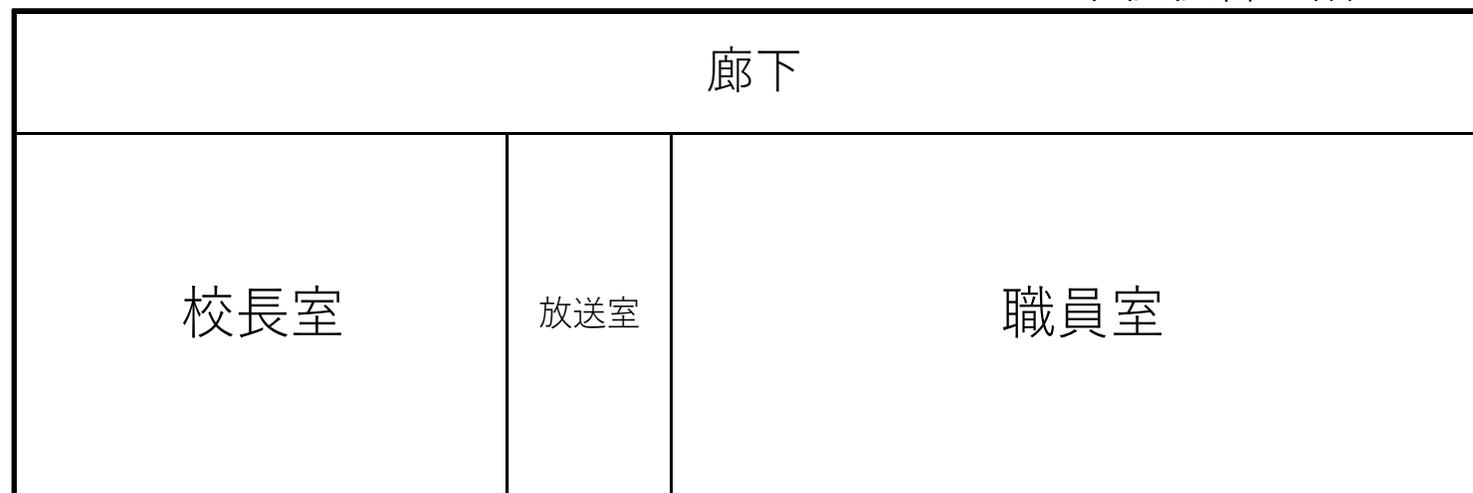
作戦 5

校長からの積極的な声掛け「報連相」

○校長室の位置

本校は、校長室と職員室とがつながってなく、廊下を通して職員室に行く構図となっている。そこで積極的に職員室に出向き、意識的に職員との会話をするようにしている。

本校校舎 1 階



<職員との信頼関係を築く「見守っているぞ」作戦>

作戦 6

職員の人に響く？ 手書きの一筆箋作戦



- 通知表の所見確認を活用
(担任は所見を必ず事前に提出)
- 職員を労い、今後の活躍を期待する内容を手書きでしたためる。
- 学期毎に1枚、通知表に添付
- 一声かけ、必ず本人に手渡し

<職員との信頼関係を築く「見守っているぞ」作戦>

作戦7

褒めて褒めて感謝する「8割」
敬意を込めた指導助言「2割」の若手育成

作戦8

松戸市役所「すぐやる課」も顔負け
職員からの依頼は超スピード対応で!!

<様々な場面で仕掛ける！楽しい職場作戦 >

作戦 9

職員室での教頭との談笑場面の演出

平成29・30年度	A 教頭	本校で定年退職	・ ・ 親の介護、スポーツ全般
令和元年度	B 教頭	本校で定年退職	・ ・ グルメスポット、前任校の苦労話
令和2年度	C 教頭	来年度定年退職	・ ・ 家族全般、プロ野球

<様々な場面で仕掛ける！楽しい職場作戦 >

作戦10

教員が燃える「生徒 vs 教員」部活決戦

- 時期 ・ ・ 長期休業中
- 事前 ・ ・ 部活顧問と協議
全職員に試合の周知
参加教員の募集
- 事後 ・ ・ お疲れさん会
- 試合を行った部活動
 - ・ 野球 ・ ソフトボール
 - ・ バレーボール ・ サッカー
 - ・ バスケットボール
 - ・ バドミントン

※管理職以前のものも含む

<様々な場面で仕掛ける！楽しい職場作戦>

作戦11

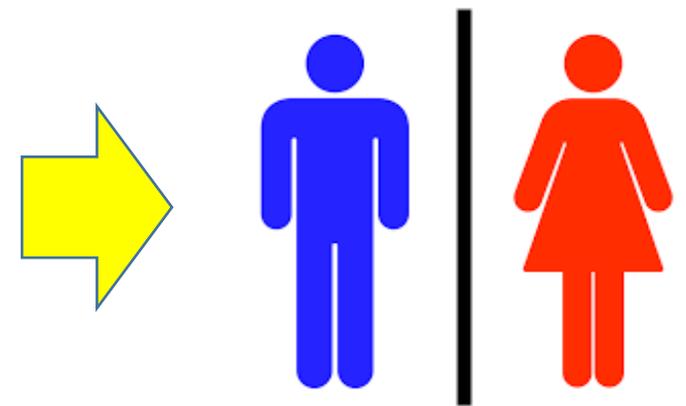
ナッジ理論を活用した環境整備

～ 職員トイレでの実践 ～

ナッジ理論とは？

「ナッジ理論」とは、2017年にノーベル経済学賞を受賞した経済学者のリチャード・セイラー博士と、ハーバード大学のキャス・サステーン教授が、2008年に提唱した概念です。

この理論は、人間の行動を金銭や規則等で方向付けするのではなく、「**ひじで軽く突く**」程度の働きかけで、良い結果を引き出すという考え方です。



「両辺をけがすことなかれ」

『正法眼蔵』「洗淨」

曹洞宗の開祖・道元禅師の言葉です。

トイレで用をたす時には、その両側や前後を汚してはいけないという意味です。トイレは毎日お世話になるところ。そのトイレを汚してはいけないということは当たり前のことです。

もし、汚したなら自分自身の手で汚れを落とし、便器をきれいにすることが大切です。

トイレの中では誰も見ていません。自分ひとりです。誰にも見られないトイレの中で、当たり前のことをどう具体的に行っていくのか。

誰にも見えないところで行う自分自身の「修業」であると道元禅師は説きます。

個人の内面の姿は必ず外面に現れる。外に現れた生き方がなおざりであれば内側の姿もおざりなのです。

職員トイレ（男子） の様子

